

「クロスロック Zタイプ FL-Z」
耐震試験報告書

2020年 1月 31日

因幡電機産業株式会社
開発統括部

「クロスロック Zタイプ FL-Z」耐震試験報告書

1. 目的

クロスロック Zタイプ FL-Zを使用した振れ抑制構造について、地震が発生した際に「クロスロック」及び「振れ抑制用ボルト」が脱落しないことを、3次元振動台を用いた加振試験にて確認します。

2. 試験実施機関

UR都市機構 技術研究所

3. 試験方法

3-1. 試験装置

3次元振動台に形鋼で作成した試験枠が固定しており、試験枠に対して W3/8 全ねじボルトを使用して吊り下げた室内機に振動を加えることができる構造。

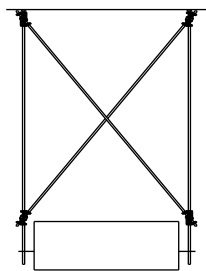


3-2. 試験条件

① 室内機

天井カセット型 4 方向吹き出しタイプ (重量 50kg)

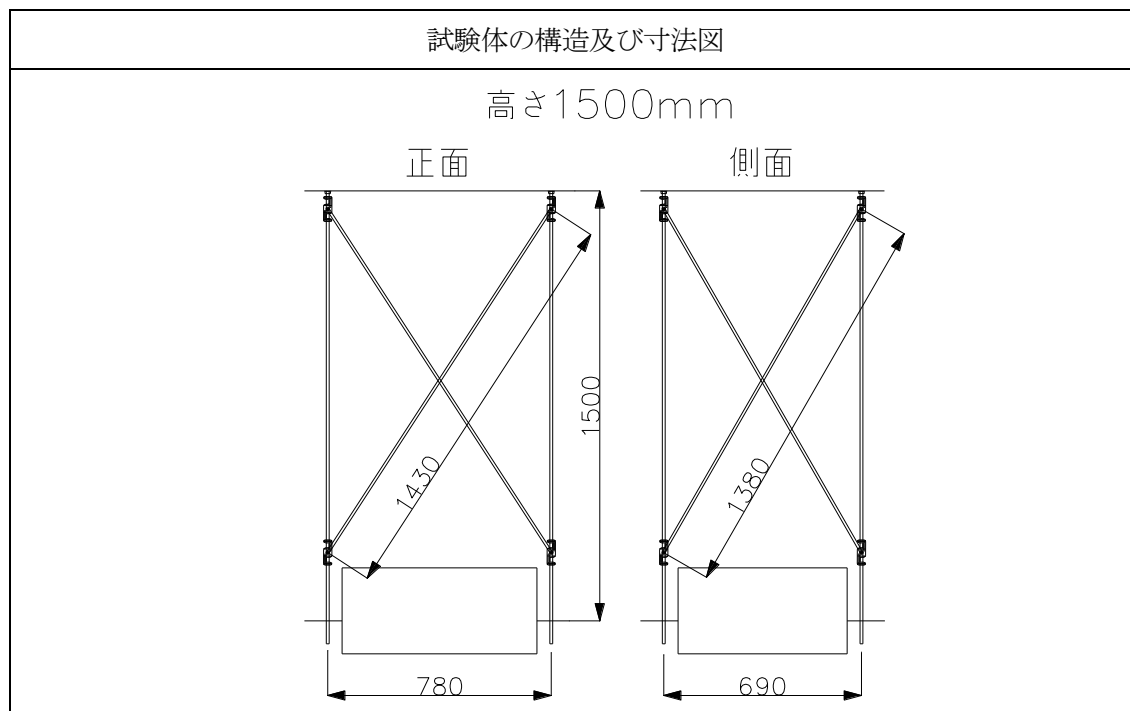
② 振れ抑制ボルト施工方法



シングルクロス施工

③ 試験体

試験体の構造及び寸法を下表に示します。



被写体の写真を以下に示します。



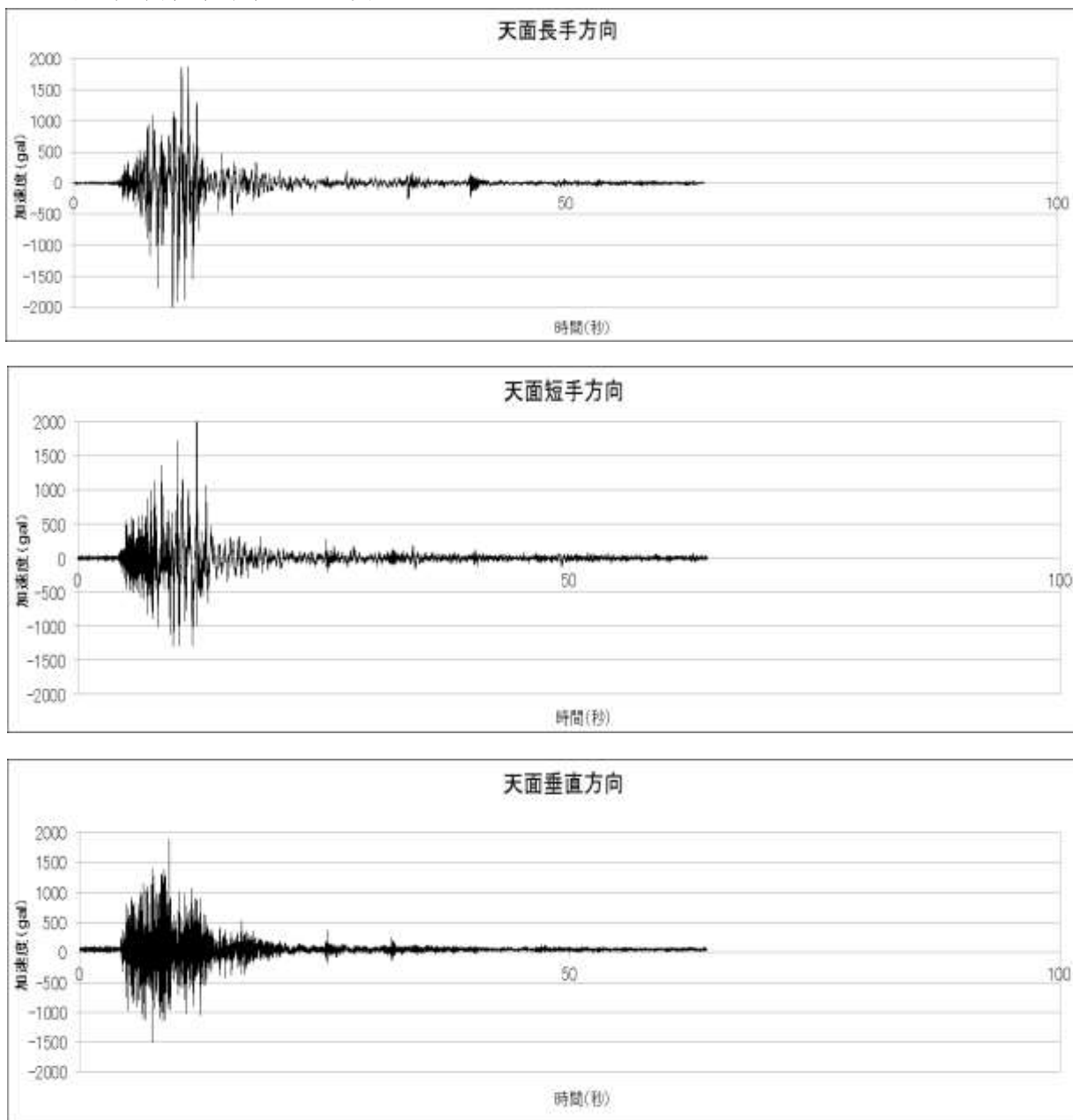
④ 加振波

以下に示す加振波を試験体に加えます。

加振波：小千谷波

2004年10月23日新潟県中越地震（K-NET 小千谷データ）の地震波を再現した加振波。

吊り根本部（天面）の加速度



加振試験時の実測値

方 向	最大加速度
天面長手方向	2383gal
天面短手方向	2511gal
天面垂直方向	1302gal

3－3．試験手順

3－1に示した試験装置を用い、3－2に示した試験条件で加振したときに試験体に設置された「クロスロック」及び「振れ抑制用ボルト」の状態を目視にて確認します。

4．試験結果

クロスロック及びクロスロックからの振れ抑制ボルトの脱落はありませんでした。

以上